

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

平川市長 長尾 忠行

市町村名 (市町村コード)	平川市 (22101)
地域名 (地域内農業集落名)	平賀④ (杉館、松館、館山・松崎、館田、苗生松、西の平)
協議の結果を取りまとめた年月日	(第1回) 令和6年2月2日

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・稲作が中心の地区であるが、多くが定年を迎えた60歳以上で後継者もない。また、生産組合の組合員も高齢化しており、組合員と農地が減少している。経営を拡大しているのは後継者を確保できた人である。
- ・地区の組合は地権者から借地した農地を大豆に転作しているが、地域の農業者が離農した際に組合員以外の他地域に権利が移ることがあり、水管理が効率的でない状況が発生している。
- ・農業経営の魅力が発信できておらず、新規就農する人が少ない。

(2) 地域における農業の将来の在り方

主力作目である水稻を生産組合及び大規模の担い手農家に集積することで地域農業の安定化を図るとともに、座談会等の話し合いに基づいて、集積・集約の方向性を定める。

また、水管理等の問題を解決し、効率的に作業を行うため、出し手の意向を把握し、地域内での農地の売買・賃貸借を行うよう呼びかけるとともに、湛水直播栽培などの低コスト化を推進し、所得を向上させる。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	353 ha
------------	--------

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

現在の農用地区域を継続して利用していく。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
<p>【水稲】 松館宮農組合、奈良寧、古川誠二、對馬讓治、乗田知洋が中心となり農地を集約していく。</p> <p>【にんにく】 (株)ジョイ・ワールド・パシフィックが農地を取得し拡大していく。</p>
(2) 農地中間管理機構の活用方針
地域内で中間管理機構の活用を推進しているため、今後も農業委員等が中心となり集積・集約化を進める。
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
高齢化は進んでいるが、後継者を確保している農業者が比較的多い。現在の世代が農業で所得を稼ぐことを次世代に示し、就農者をより増やしていく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/>	⑩その他
<p>【選択した上記の取組方針】</p>									